

工学系人材のキャリア形成とCPD ～ DEIと多様なキャリアから考えるCPDの未来 ～

DEI (Diversity : 多様性、Equity : 公平性、Inclusion : 包括性)

日 時 : 2026年 11月 12日 (木) 9 時 30 分～11 時 40 分

場 所 : オンライン (Zoomウェビナー)

主 催 : 公益社団法人 日本工学会 CPD 協議会

定 員 : 制限なし

参加料 : 無料

産業競争力の源泉である工学系技術者には、生涯にわたって学び続け、自らの専門性を発展させることが求められています。一方で、働き方やキャリアパスは多様化し、企業、大学、研究機関など活躍の場も広がっています。本シンポジウムでは、技術者継続研さん (CPD) とキャリア形成の関係に着目し、多様な経験を持つ人材が能力を発揮し続けるための学びのあり方について議論し、工学系技術者が専門性を深めながら新たな領域へ挑戦し続けるために、CPDはいかにあるべきかを考えます。

司会 高木 真人 日本工学会理事、CPD協議会副会長

プログラム (敬称略)

9:30～9:35 開会のあいさつ 五十嵐 仁一 日本工学会副会長、CPD協議会会長

9:35～10:05 基調講演「変化の時代に、学び続ける
～ 技術者のキャリア形成と多様な可能性 ～」
行木 陽子 中央大学 特任教授 (元日本IBM 技術理事)

技術者を取り巻く環境が大きく変化するなか、専門分野の知識を継続的に学ぶことに加え、新たな領域に踏み出し、自らのキャリアを広げていくことの重要性が高まっています。本講演では、企業と大学の双方における自身の経験を踏まえ、学び直しや異なる分野・組織での経験が、キャリア形成にどのようなにつながったかを紹介します。さらに、DEIの視点も交えながら、一人ひとりの可能性を引き出し、成長し続けるために、CPDが果たし得る役割について皆様とともに考えます。

10:05～10:25 講演1「AI研究開発30年における研究者のキャリア形成」
影広 達彦 株式会社日立製作所 研究開発グループ
先端AIイノベーションセンタ 主管研究長

日立製作所における約30年のAI研究開発を軸に、技術トレンドの大変革に適応し専門性を維持拡張してきたかを実体験に基づいて述べます。研究者の活動に加え、デザイナーとの連携による「顧客協創」の推進、マネジメント、大学客員教員といった役割の変化が、自身の成長にどう作用したかを振り返ります。第一線の現場で求められる具体的な学びと、多様なキャリアを歩む中での継続的研さんの実態を共有します。

10:25～10:45 講演2「技術開発管理の視点を組織経営へ」
天野 玲子 株式会社ゆうちょ銀行社外取締役

鹿島建設へ土木系女性総合職第1号として入社し、土木技術者として技術開発・技術管理に携わるとともに、その後、研究開発法人や企業の社外役員など、多様な立場で技術と社会をつなぐ役割を担ってきました。技術者として専門性を深めながら新たな分野へ挑戦してきた経験を振り返り、学び続けることが新たな役割やキャリアにつながった経験を通して、これからの工学系技術者に求められる学びのあり方について考えます。

10:45～10:50 休 憩

10:50～11:35 意見交換
パネリスト 行木 陽子、影広 達彦、天野 玲子
モデレータ 高木 真人 CPD 協議会副会長

11:35～11:40 閉会のあいさつ 西村 秀和 CPD協議会副会長

*プログラムは、都合により変更となる場合があります。

お申込みは日本工学会ホームページからWEBにてお願いいたします。

お申込みいただきますと、折り返し、受付確認と Zoom の URL などが、記入頂いたメールアドレスに送信されます。

お申込 <https://www.jfes.or.jp/>

公益社団法人日本工学会 CPD 協議会 Tel:03-6265-0672 E-mail: eng@jfes.or.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

☆ ☆

CPD 協議会会員（18 学協会）： 安全工学会、空気調和・衛生工学会、計測自動制御学会、地盤工学会、ターボ機械協会、電気学会、電気設備学会、電子情報通信学会、土木学会、日本技術士会、日本原子力学会、日本船舶海洋工学会、日本塑性加工学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本冷凍空調学会、農業農村工学会、プレストレストコンクリート工学会、石油学会